

おかやまの魅力発信のために

1. はじめに

岡山県は地震などの自然災害も少なく、温暖な気候に恵まれた「晴れの国」です。温暖な気候を生かして、全国有数の質の高い農業が営まれてきました。清水白桃、マスカット、ピオーネは生産量、品質とも全国一を誇っており、海外でも岡山ブランドとして高く評価されています。

また、瀬戸大橋をはじめ縦横に伸びる高速道路網、山陽新幹線をはじめJR岡山駅で8路線が交わる鉄道網、3,000m滑走路を有する岡山空港、15の国際定期コンテナ航路を有する水島港など、全国でもまれに見る交通基盤が充実した地域であり、中四国のみならず、西日本の高速交通網の結節点となっています。

このような中、本県では、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を県政の基本目標とし、「教育県岡山の復活」「地域を支える産業の振興」「安心して豊かさが実感できる地域の創造」の3つを重点戦略とする「晴れの国おかやま生き生きプラン」に平成26年度からの3年間で取り組んでおり、「顧客重視」「コスト意識」「スピード感」の3つの視点を持って、不断の改革・改善に取り組み、施策を着実に推進しています。

2. 岡山県の情報発信について

前述のとおり、多くの魅力をもつ岡山県ですが、民間シンクタンク調査などでは、本県の認知度及び、県民などの本県への愛着度は全国的に低位となっています。

このため、「晴れの国おかやま生き生きプラン」において「情報発信力強化プログラム」を設け、岡山県を全国にアピールし、本県の知名度向上と岡山ブランドの確立を目指すため、イメージアップ戦略の一環として、新たなフレーズ「もんげー岡山！」や、インパクトのある動画などを活用したPRを展開しています。

また、JR新橋駅前に、鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」を開設し、両県の食材、食品及びその他の特産品の個性・魅力を展示・紹介・販売するとともに、両県の地酒や県産食材・食品で作った軽飲食物を提供することで、これまで岡山のことをよく知らなかった方に岡山の魅力を知っていただくきっかけづくりに取り組んでいます。

さらにスポーツ分野においては、本年11月8日に「第1回おかやまマラソン」の開催を予定しており、岡山市中心部のメインストリートのほか、

岡山県知事 いばらぎ 伊原木 りゅうた 隆太



豊かな田園風景や旭川河畔、日本三名園の一つ岡山後楽園や岡山城の周辺を巡る岡山の見どころを盛り込んだコースを設定しています。

3. 建設業等の魅力発信について

建設産業は、道路や河川などの社会インフラを支え、災害時の初動対応から応急復旧活動を行うなど重要な産業ですが、若年入職者の減少や就職者の高齢化が進んでいます。

このため、県民のみなさまに土木・建築の魅力や社会資本整備の重要性を知り、理解を深めていただくことを目的として、国、県、岡山市など公共工事の発注者16組織による、「『おかやまの土木・建築』魅力発信協議会」を昨年6月に立ち上げました。

「おかやまの土木・建築」魅力発信協議会では、ホームページを開設し、工事現場や建築物を紹介するなど、広く関心を持っていただくための情報発信に取り組んでいます。

また、県では、フェイスブック「おかやまの土木・建築」を活用し、土木・建築行政の話題をリアルタイムに発信するとともに、ホームページ「おかやまの歴史的土木資産」で、土木資産の歴史や

役割を周知する取組みを進めています。

本年度からは、建設産業に携わる若手技術者や女性技術者の仕事内容などを紹介するためのPR動画「夢シゴト人 ハッケン！建設業の魅力」を製作し、動画サイト、イベント会場及びハローワークなどで上映したり、小中学生、高校生などを対象に建設技術などをわかりやすく説明するセミナーや作業体験を行う「おかやまの土木・建築『体感！』ゼミナール」を開催するなど、工業高校、高専、大学工学部への進学や建設産業への就職が選択肢となるよう動機づけを図るための事業も実施しています。

4. おわりに

このような発信により、本県の知名度向上や建設産業の担い手確保などが図られ、本県のさらなる発展への好循環に繋がるよう、全力で取り組んでいきたいと考えています。